

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	預かり保育事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	幼稚園教育要領	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			
(小項目)	学校教育		終期		未定 ▼
施策	2	幼稚園教育の充実			
基本事業	6	預かり保育による子育て支援			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 就労等によって午後からの保育が困難な保護者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	幼稚園教育要領に基づく保育終了後、家庭での保育が困難な園児を対象に幼稚園施設を開放して預かり保育を実施する。園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		預かり保育受入率	100	100	100	100	100	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	市内の公立幼稚園のうち12園が預かり保育事業をおこなっており、そのうち土曜の預かり保育実施園は、5園あり、保護者の利便性の向上や負担軽減を図った。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	預かり保育実施園	12	12	12	12	12	園
	2	土曜預かり保育実施園	5	5	5	5	5	園
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	預かり保育受入率		100	100	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		33,661	34,662	37,550	37,550	37,550	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	29,121	30,055	31,763	31,763	31,763	
		一般財源	4,540	4,607	5,787	5,787	5,787	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		2,016	2,016	2,016	2,016	2,016	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		35,677	36,678	39,566	39,566	39,566	千円	

【事務事業名：預かり保育事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	預かり保育を実施している園の中で、定員を超える園があるが、保護者の意向を尊重し、施設や人員をやり繰りしながら希望園で受入している。また、預かり保育担当職員の人員確保を図りながら、今後も保護者のニーズを把握し、継続して実施する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	幼稚園の保育終了後、家庭での保育が困難な園児を対象に実施しており、保護者の就労や子育てを支援するためには必要。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 幼稚園教育の充実 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	家庭的な環境において、在園児の遊びや異年齢交流の場を提供し、保護者の子育て等を支援する。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	預かり保育担当職員については、勤務が短時間であり、賃金が低く人員確保が難しい。核家族化と保護者の就労により市民ニーズは高まっており、子育て支援の観点から必要であるが、定員を超える希望がある園では、教室が不足する事態が生じる恐れがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10				

◎今後の方向性(ACTION)

課題	核家族化と保護者の就労により市民ニーズは高まっており、子育て支援の観点から必要であるが、定員を超える希望がある園では、教室が不足する事態が生じる恐れがある。また、預かり保育担当職員の人員確保を図りながら、今後も保護者のニーズを把握し、継続して実施する。特に、4月当初の人員確保が厳しく、今後の正規教員の大量退職も見据え、経験豊富な人材を安定的、継続的に確保するため、募集条件等の見直しを検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 4月 ▼			
	どのように改革するのか	年度当初に臨時幼稚園教員等が不足を生じているので、募集条件等の変更を検討している。内容的には、賃金の見直しや任用更新の期限の緩和、夏期休業日中における生活保障等であり、経験豊富な人材の安定的、継続的な確保をめざす。			